



国民の森林・国有林

広報

中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



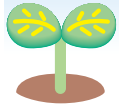
親子森林体験教室でミニチュアハウスの組み立てと植樹作業を体験する親子

スッキリと晴れわたった青空のもと 親子森林体験教室を開催

(P4~5に関連記事)

主な項目	○ 各地で植樹祭を開催	P2~4
	○ 各地からのたより	P4~7
	○ 風景紀行	P8

各地で 植樹祭を開催



「ふるやの森つくり」県民の集い
長野県植樹祭開催

【指導普及課】五月二十九日(土)、長野県、中部森林管理局、駒ヶ根市、宮田村などが主催する、平成二十二年度ふるさとの森づくり県民の集い・第六十一回長野県植樹祭が「森づくり 豊かな地域の第一歩」をテーマに駒ヶ根高原スキー場を主会場に開催されました。

当日は、地元地域のみどりの少年団を始め、林業関係者、一般参加者など約千四百人が参加し、植樹会場である駒ヶ根市駒ヶ根高原や宮田村黒川平の三会場、約二つの民有林に分かれ、植樹作業に汗を流しました。



緑の少年団と城土局長

今回の植樹祭では、森林の多様性を高めることを目的に、イロハモミジやオオヤマザクラを始め、会場付近に自生する郷土種である十四種の苗木、計二千四百十本を植樹しました。

「ふるやの文化の継承」 「とやま森の祭典」



【富山署】第十一回とやま森の祭典が五月二十八日(金)、射水市「県立公園 太閤山ランド」で「根っ子から 大きな未来が みえてくる」をテーマに、花とみどりの少年団員、農林漁業関係者ら約二千名が参加して開催されました。

前日までの雨も上がり、さわやかな初夏の風が吹く中、城土局長、知事、市長らにより、射水市の市木であるトネリコの記念植樹が花とみどりの少年団とともに行われました。トネリコは、かつて、湿地地帯の水路や田んぼ道等に植えられ、用水路の土留めやはさがけに利用されたことから、射水市水郷地帯のシンボルとなっているものです。

また、今年「県民参加の森づくりフェア」が新たに設けられ、石井知事と森づくりに関する野外公開トークが行われました。

午後からは第二部として「森とのふれあいフェスティバル」が開催され、富山署は来訪者に森林への関心を一層高めてもらうために森林クラブ教室、しおりづくりのブースを開設し、併せて、地域

と連携して実施している雲ノ平植生復元作業、森林整備、治山事業などのPRパネル展示も行いました。



みどりの少年団と記念植樹をする城土局長



ブースで富山署の取り組みをPR

愛知県植樹祭

緑と田園の飛鳥村で開催
飛鳥学園(小中一貫校)で植樹



【名古屋事務所】「伝えよう 緑の地球いつまでも」をテーマに、平成二十二年度愛知県植樹祭が「国際生物多様性の日」の五月二十二日(土)に飛鳥村で開催され、飛鳥村民はじめ、愛知県下の緑化関係者、飛鳥学園児童・生徒、来賓ら千二百名が参加しました。

記念植樹は、今年四月に開校し全国から注目されている飛鳥村立小中一貫教育校飛鳥学園の校庭に「愛知グリーンウェイ運動」と「飛鳥学園親子」がアジサイなど約七百本を植樹、参加者がヒラトツツジなど約五百本を植樹して次世代に緑を引き継ぎました。

北信州植樹祭開催される



【北信署】本年度の北信州植樹祭が六月五日(土)、飯山市業の花公園において開催されました。

心配された天候も回復し、青空の下、すがすがしい風が吹き入る植樹日和の中、みどりの少年団、一般参加者、林業関係者など約四百名の参加者は、カスミザクラ、ヤマブキの苗木約四百五十本の植樹や植栽木の周囲へのチップ敷に汗を流しました。

この植樹祭は、北信州森林祭実行委員会(北信地区緑化推進委員会、地方事務

(3) 平成 22 年 6 月



植栽した樹木の周りにチップを敷くみどりの少年団

所、森林管理署、当該市町村、森林組合等林業関係八団体）が主催し、地域における森林づくりと、うるおいのある郷土づくりを推進するため、森林・林業の大切さと森林整備の必要性を普及啓発するもので、北信地区六市町村の持ち回りで開催しています。

式典では、信越トレイルの維持・整備活動やギフチョウ・ヒメギフチョウの生息地の保護・保全活動をしている団体への表彰や国土緑化、野鳥愛護コンクール表彰が行われ、地元飯山市立秋津小学校、木島小学校二校のみどりの少年団による「かけがえのない緑豊かな森林を大切にしていこう」、「先人が残した豊かな緑を育てていこう」、「緑ある豊かな社会をつくる」の誓いの言葉の発表後、植樹作業

が行われました。

約一時間の作業後は、用意された豚汁をいただきながら、地元飯山市立東小学校児童の鼓笛隊の演奏を堪能し日程を終えました。

管内町村との合同植樹祭を開催

【南木曾支署】五月十三日に南木曾町・木曾森林管理署南木曾支署合同植樹祭を南木曾国有林において、南木曾小学校みどりの少年団をはじめ、愛知県長久手町ほか約二百名が、南木曾町の町木であるヒノキ等苗木二千六百本の植樹に汗を流しました。

式典では、南木曾小学校みどりの少年団の代表二名より「トトロの森に出てくような森にしたい」と題して「環境のためや地球温暖化防止のため、たくさん木を植えたい」「よく育つように一生懸命植えます」といった作文発表の後、植



一生懸命植樹するみどりの少年団



雑木の除去に汗を流す小学生

樹作業と森林教室が行われました。

また、五月二十二日（土）に木曾郡大桑村の「のぞきと森林公園」において大桑村・木曾森林管理署南木曾支署合同育樹祭を開催し、愛知県北名古屋市市民をはじめ、村民ら約二百四十名が公園内のツジの生育を妨げる下草や雑木の除去に汗を流し、次いで、大桑小学校五・六年生の木製コカリナ演奏と、北名古屋市西春少年少女合唱団の合唱が行われ、育樹祭終了後は小学生を対象としたシイタケ植菌作業の林業体験も行われました。

これらの行事は町村との共同開催で行っています。今後も、地域と協働し継続していく中から、このような取組を地域はもとより下流域に情報発信していきたいと考えています。

分収造林契約地で地元住民に
よる「悠久の森」記念植樹
高山市国府町宇津江四十八滝古峠国有林
【飛騨署】中部森林管理局と日本森林林



植栽祭に参加された皆さん

業振興会名古屋支部（土川哲夫支部長）の間で昨秋協定が締結された分収造林契約地を「悠久の森」と命名し、五月三十日（日）、地域住民の参加の下、植樹祭が開催されました。
この分収造林地は県立自然公園宇津江四十八滝の上流部一帯を占める古峠国有林であることから、より水源の働きが高まるようにとケヤキ、ミズナラなど七種類の広葉樹四百本を植栽しました。
植樹祭は、振興会や高山市美しい森林づくり実行委員会、飛騨森林管理署が主催し、六月に岐阜県で開催される「全国豊かな海づくり大会」協賛行事として計画されました。
「豊かな海も豊かな森林から流れ出る

水があつてこそ」との思いと、美しい滝や清流を自分たちの手で守りたいという思いで、小さな子供たちから大人まで、百五十名の参加をいただき一本一本地域住民たちの手で丁寧な植え付けられました。植樹のあとは、六班に分かれインストラクターの案内で四十八滝めぐりや自然観察会など、新緑の散策を楽しみました。参加した地元町内会の方からは、「国有林で地元の大勢の人が参加して植樹し楽しい日となった。」「植えた木々がすくすくと育ち、この森の水が、地域の宝である四十八滝の豊かな水源となり、下流域をも潤してくれることを願っています。」と話されていました。

「来場者も当時の写真にびっくり!!」
岐阜県みどりの祭りで
治山事業をPR

「東濃署」五月二十二日(土)、土岐市にある「陶史の森・せせらぎ公園」において「第四十回岐阜県みどりの祭り」が開催され、署長以下職員四名が参加しました。

この催しは、岐阜県が定める「木の国・山の国県民運動」における春の中心行事として毎年開催されています。

会場の「陶史の森・せせらぎ公園」は平坦な里山に囲まれた静かな自然公園となっており、当日は天候にも恵まれたことから、地元市民を中心に多くの来場者で賑わいました。

土岐市周辺は陶磁器産業が盛んな地域

として有名ですが、元々脆弱であった地質に加え、窯の燃料となる木々の濫伐が大規模な荒廃地を生みだしたことから、昭和七年に農林省の直轄事業として治山工事が始められました。

戦後、この事業は当時の名古屋営林局に引き継がれ、事業が完了する昭和四十五年まで続けられました。

当署のテントではその当時の荒廃の様子や復旧していく様子を映した写真などを展示し、地元小学生にはパネルを使用して治山工事の果たす役割についての教室を開きました。

訪れた市民や子供達からは「近くに住んでいるけど知らなかった」「説明を聞いて治山の事がよく分かりました」などの感想が寄せられました。

当署では、現在国交省と連携した「治山・砂防教室」を開いており、今後も機会あるごとに「治山」についてのPRを進めていくこととしています。



地元小学生に治山事業の役割を説明

各地からのたより

戸隠森林植物園でボランティア
長野県土木協会北信分会

「北信署」四月二十一日(水)、長野県土木協会東北信支部北信分会会員二十五名が戸隠森林植物園を訪れ、ボランティア活動を行いました。

この活動は同会の社会貢献活動の一環として行われているもので、今回で五回目となります。

参加者は、除雪されたバリアフリー歩道の支柱にグリーンロープを約二キロメートルにわたって張った後、デッキブラシで歩道に付着した苔を落とす清掃作業を行いました。グリーンロープは、散策者の転落防止と、湿地帯への進入防止のために設置しています。さらに苔を落とすことにより、歩道は滑りにくくなり、木道の腐朽を防止することができます。

今年例年と比べると残雪が多く、四月に入ってから気温の低い日が続いていましたが、当日は暖かい日差しに恵まれました。参加者は、わずかに顔を出し始めた湿地と、様々な鳥のさえずりに春の訪れを感じながら、作業を進めていきました。慣れない作業に疲れた様子でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。十分な達成感を味わうことができました。

戸隠森林植物園は四月二十四日(土)



戸隠森林植物園散策歩道の整備をする協会の皆さん

に開園し、多くの来園者を迎え入れます。今回の作業は開園準備の一環であり、林業土木事業を営む方々が、自然への理解を深め、地域に貢献する良い機会となりました。

「ムクリ沢林道」
地元住民による現地視察

「南木曾支署」四月二十七日(火)、ムクリ沢林道において南木曾町長を始め地元区長など二十二名が参加して現地視察を開催しました。

ムクリ沢林道は平成九年度に着工し、この間総延長約四・一キロの林道を開設してきました。

当地域(北蘭国有林)は木曾川支流の蘭川右岸に位置し、地形は全般に急傾斜地が多く、地質は風化浸食が進んだ花崗